

I 令和2年鉱工業指数の動向

1 概況

令和2年の本県の鉱工業指数(原指数)は、平成27年を100.0とした年平均で見ると、

生産指数は76.0となり、対前年比で12.9%の低下となった。
 生産者出荷指数は70.6となり、対前年比で10.9%の低下となった。
 生産者製品在庫指数は81.1となり、対前年比で1.0%の上昇となった。

本県鉱工業の推移をみると、生産指数は平成30年から3年連続低下した。出荷指数は生産指数と同じく3年連続低下した。在庫指数は平成30年から3年連続上昇した。

生産指数の低下要因を業種別にみると、金属製品工業、食料品工業、窯業・土石製品工業などの低下により、全体として対前年比12.9%の低下となった。
 出荷指数の低下要因を業種別にみると、食料品工業、金属製品工業、窯業・土石製品工業などの低下により、全体として対前年比10.9%の低下となった。
 在庫指数の上昇要因を業種別にみると、金属製品工業、その他の工業、鉄鋼業などの上昇により、全体として対前年比1.0%の上昇となった。

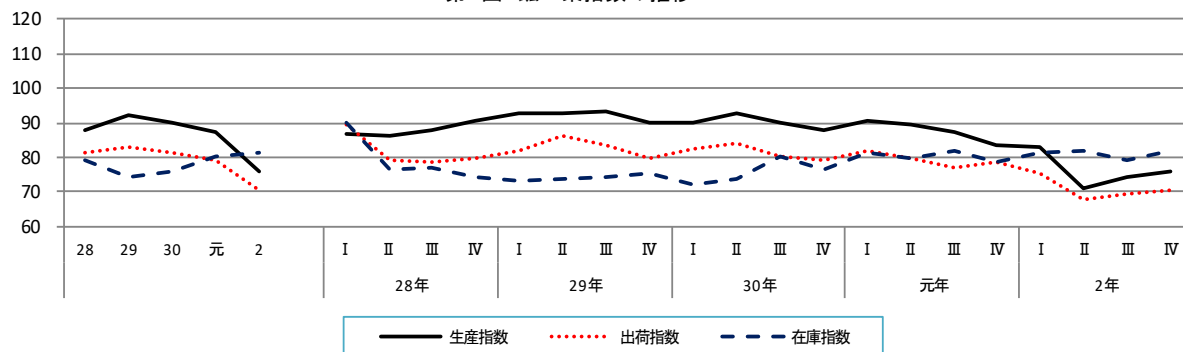
第1表 鉱工業指数(原指数)・対前年比(%) 平成27年=100.0

	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
生産指数	87.6	92.4	90.1	87.3	76.0
前年比(%)	▲ 12.4	5.5	▲ 2.5	▲ 3.1	▲ 12.9
出荷指数	81.4	83.0	81.4	79.2	70.6
前年比(%)	▲ 18.6	2.0	▲ 1.9	▲ 2.7	▲ 10.9
在庫指数	79.3	74.2	75.6	80.3	81.1
前年比(%)	▲ 20.7	▲ 6.4	1.9	6.2	1.0

第2表 鉱工業指数(季節調整済指数)・対前期比(%) 平成27年=100.0

	令和元年				令和2年			
	I期	II期	III期	IV期	I期	II期	III期	IV期
生産指数	90.6	89.2	87.4	83.6	82.7	70.9	74.0	76.0
前期比(%)	3.4	▲ 1.5	▲ 2.0	▲ 4.3	▲ 1.1	▲ 14.3	4.4	2.7
出荷指数	81.9	79.4	77.0	78.4	75.1	67.6	69.2	70.6
前期比(%)	3.5	▲ 3.1	▲ 3.0	1.8	▲ 4.2	▲ 10.0	2.4	2.0
在庫指数	81.4	79.7	81.9	78.5	81.4	82.0	79.2	81.8
前期比(%)	6.7	▲ 2.1	2.8	▲ 4.2	3.7	0.7	▲ 3.4	3.3

第1図 鉱工業指数の推移



※年指数は原指数、四半期別指数は季節調整済指数

(1)生産

生産指数(原指数)(指数水準76.0、対前年比12.9%減)

生産の上昇に寄与した業種は、金属製品工業、食料品工業、窯業・土石製品工業などの9業種であった。

生産の低下に寄与した業種はなかった。

四半期別(季節調整済指数)にみると、次のとおりである。

I期(指数水準82.7、対前期比1.1%減)

生産の低下に寄与した業種は、金属製品工業(対前期比11.4%減)などの6業種であった。

生産の上昇に寄与した業種は、食料品工業(対前期比1.5%増)などの3業種であった。

II期(指数水準70.9、対前期比14.3%減)

生産の低下に寄与した業種は、食料品工業(対前期比18.5%減)などの8業種であった。

生産の上昇に寄与した業種は、化学・石油製品工業(対前期比5.0%増)などの1業種であった。

III期(指数水準74.0、対前期比4.4%増)

生産の上昇に寄与した業種は、食料品工業(対前期比13.1%増)などの6業種であった。

生産の低下に寄与した業種は、窯業・土石製品工業(対前期比2.4%減)などの3業種であった。

IV期(指数水準76.0、対前期比2.7%増)

生産の上昇に寄与した業種は、その他の工業(対前期比16.4%増)などの6業種であった。

生産の低下に寄与した業種は、窯業・土石製品工業(対前期比2.8%減)などの3業種であった。

第3表 業種別生産指数の動き

平成27年=100.0

	ウェイト	原指数			季節調整済指数						対前年(期)上昇率(%)					
					R元年		R2年				原指数		R2年 季節調整済指数			
		30年	元年	2年	IV期	I期	II期	III期	IV期	元年	2年	I期	II期	III期	IV期	
鋁工業	10000.0	90.1	87.3	76.0	83.6	82.7	70.9	74.0	76.0	▲ 3.1	▲ 12.9	▲ 1.1	▲ 14.3	4.4	2.7	
鉄鋼業	353.7	102.1	100.0	88.9	96.7	93.1	91.5	87.5	84.2	▲ 2.1	▲ 11.1	▲ 3.7	▲ 1.7	▲ 4.4	▲ 3.8	
金属製品工業	1340.2	108.3	112.2	89.0	103.5	91.7	85.3	89.2	89.8	3.6	▲ 20.7	▲ 11.4	▲ 7.0	4.6	0.7	
窯業・土石製品工業	1794.1	98.3	95.2	81.8	93.9	87.9	82.0	80.0	77.8	▲ 3.2	▲ 14.1	▲ 6.4	▲ 6.7	▲ 2.4	▲ 2.8	
化学・石油製品工業	697.6	45.7	25.0	18.1	18.9	17.9	18.8	17.2	18.5	▲ 45.3	▲ 27.6	▲ 5.3	5.0	▲ 8.5	7.6	
プラスチック製品工業	171.9	99.1	101.4	100.8	102.4	108.8	91.0	105.1	100.0	2.3	▲ 0.6	6.2	▲ 16.4	15.5	▲ 4.9	
パルプ・紙・紙加工品工業	160.2	102.3	99.8	93.2	98.2	95.9	90.4	92.4	93.8	▲ 2.4	▲ 6.6	▲ 2.3	▲ 5.7	2.2	1.5	
食料品工業	4534.5	84.3	82.6	76.0	81.5	82.7	67.4	76.2	76.4	▲ 2.0	▲ 8.0	1.5	▲ 18.5	13.1	0.3	
その他の工業	809.0	100.5	96.1	75.1	87.3	93.0	60.8	65.2	75.9	▲ 4.4	▲ 21.9	6.5	▲ 34.6	7.2	16.4	
鋳業	138.8	102.4	93.9	89.9	94.6	91.1	86.4	90.6	91.3	▲ 8.3	▲ 4.3	▲ 3.7	▲ 5.2	4.9	0.8	

注)その他の工業は、非鉄金属工業、印刷業、繊維工業を統合したもの。

(2) 出荷

出荷指数(原指数)(指数水準70.6、対前年比10.9%減)

出荷の低下に寄与した業種は、食料品工業、金属製品工業、窯業・土石製品工業などの9業種であった。

出荷の上昇に寄与した業種はなかった。

四半期別(季節調整済指数)にみると、次のとおりである。

I 期(指数水準75.1、対前期比4.2%減)

出荷の低下に寄与した業種は、窯業・土石製品工業(対前期比13.8%減)などの6業種であった。

出荷の上昇に寄与した業種は、食料品工業(対前期比2.4%増)などの3業種であった。

II 期(指数水準67.6、対前期比10.0%減)

出荷の低下に寄与した業種は、食料品工業(対前期比10.2%減)などの8業種であった。

出荷の上昇に寄与した業種は、化学・石油製品工業(対前期比6.8%増)などの1業種であった。

III 期(指数水準69.2、対前期比2.4%増)

出荷の上昇に寄与した業種は、食料品工業(対前期比6.1%増)などの6業種であった。

出荷の低下に寄与した業種は、鉄鋼業(対前期比5.5%減)などの3業種であった。

IV 期(指数水準70.6、対前期比2.0%増)

出荷の上昇に寄与した業種は、その他の工業(対前期比15.7%増)などの5業種であった。

出荷の低下に寄与した業種は、窯業・土石製品工業(対前期比1.7%減)などの4業種であった。

第4表 業種別出荷指数の動き

平成27年=100.0

	ウェイト	原指数			季節調整済指数						対前年(期)上昇率(%)					
					R元年		R2年				原指数		R2年 季節調整済指数			
		30年	元年	2年	IV期	I期	II期	III期	IV期	元年	2年	I期	II期	III期	IV期	
鋁工業	10000.0	81.4	79.2	70.6	78.4	75.1	67.6	69.2	70.6	▲ 2.7	▲ 10.9	▲ 4.2	▲ 10.0	2.4	2.0	
鉄鋼業	516.7	102.0	100.4	90.5	104.7	98.9	90.2	85.2	87.7	▲ 1.6	▲ 9.9	▲ 5.5	▲ 8.8	▲ 5.5	2.9	
金属製品工業	934.6	107.5	110.8	87.8	104.9	88.5	86.8	88.6	87.6	3.1	▲ 20.8	▲ 15.6	▲ 1.9	2.1	▲ 1.1	
窯業・土石製品工業	1377.8	97.6	95.6	82.7	103.1	88.9	81.5	81.0	79.6	▲ 2.0	▲ 13.5	▲ 13.8	▲ 8.3	▲ 0.6	▲ 1.7	
化学・石油製品工業	1823.3	10.3	7.2	6.2	5.8	5.9	6.3	5.8	6.8	▲ 30.1	▲ 13.9	1.7	6.8	▲ 7.9	17.2	
プラスチック製品工業	164.0	109.2	111.4	99.1	108.4	111.6	90.3	92.4	103.2	2.0	▲ 11.0	3.0	▲ 19.1	2.3	11.7	
パルプ・紙・紙加工品工業	163.4	103.0	99.8	93.4	98.3	96.8	89.0	92.2	94.8	▲ 3.1	▲ 6.4	▲ 1.5	▲ 8.1	3.6	2.8	
食料品工業	4332.2	93.4	90.5	85.0	87.3	89.4	80.3	85.2	85.0	▲ 3.1	▲ 6.1	2.4	▲ 10.2	6.1	▲ 0.2	
その他の工業	583.9	98.3	94.2	73.4	98.7	88.1	61.0	64.5	74.6	▲ 4.2	▲ 22.1	▲ 10.7	▲ 30.8	5.7	15.7	
鋳業	104.1	104.8	95.4	92.9	98.1	91.2	83.0	102.7	95.0	▲ 9.0	▲ 2.6	▲ 7.0	▲ 9.0	23.7	▲ 7.5	

注)その他の工業は、非鉄金属工業、印刷業、繊維工業を統合したもの。

(3)在庫

在庫指数(原指数)(指数水準81.1、対前年比1.0%増)

在庫の上昇に寄与した業種は、金属製品工業、その他の工業、鉄鋼業などの4業種であった。
 在庫の低下に寄与した業種は、窯業・土石製品工業、食料品工業、化学・石油製品工業などの5業種であった。

四半期別(季節調整済指数)にみると、次のとおりである。

I期(指数水準81.4、対前期比3.7%増)

在庫の上昇に寄与した業種は、金属製品工業(対前期比44.5%増)などの5業種であった。
 在庫の低下に寄与した業種は、窯業・土石製品工業(対前期比3.1%減)などの4業種であった。

II期(指数水準82.0、対前期比0.7%増)

在庫の上昇に寄与した業種は、鉄鋼業(対前期比11.8%増)などの4業種であった。
 在庫の低下に寄与した業種は、金属製品工業(対前期比8.6%減)などの5業種であった。

III期(指数水準79.2、対前期比3.4%減)

在庫の低下に寄与した業種は、金属製品工業(対前期比19.7%減)などの5業種であった。
 在庫の上昇に寄与した業種は、食料品工業(対前期比5.4%増)などの4業種であった。

IV期(指数水準81.8、対前期比3.3%増)

在庫の上昇に寄与した業種は、金属製品工業(対前期比11.3%増)などの5業種であった。
 在庫の低下に寄与した業種は、鉄鋼業(対前期比5.9%減)などの4業種であった。

第5表 業種別在庫指数の動き

平成27年=100.0

	ウェイト	原指数			季節調整済指数					対前年(期)上昇率(%)					
					R元年	R2年				原指数		R2年 季節調整済指数			
		30年	元年	2年	IV期	I期	II期	III期	IV期	元年	2年	I期	II期	III期	IV期
鋳工業	10000.0	75.6	80.3	81.1	78.5	81.4	82.0	79.2	81.8	6.2	1.0	3.7	0.7	▲ 3.4	3.3
鉄鋼業	813.0	83.3	79.1	84.7	81.5	78.5	87.8	89.1	83.8	▲ 5.0	7.1	▲ 3.7	11.8	1.5	▲ 5.9
金属製品工業	534.3	174.3	289.1	336.2	278.0	401.8	367.1	294.9	328.3	65.9	16.3	44.5	▲ 8.6	▲ 19.7	11.3
窯業・土石製品工業	1231.9	86.4	87.1	76.8	84.2	81.6	78.8	74.8	72.3	0.8	▲ 11.8	▲ 3.1	▲ 3.4	▲ 5.1	▲ 3.3
化学・石油製品工業	2800.2	19.8	12.6	10.9	10.3	10.5	11.6	11.1	10.6	▲ 36.4	▲ 13.5	1.9	10.5	▲ 4.3	▲ 4.5
プラスチック製品工業	143.0	136.4	134.5	132.3	127.4	131.0	131.5	133.1	133.7	▲ 1.4	▲ 1.6	2.8	0.4	1.2	0.5
パルプ・紙・紙加工品工業	91.6	108.2	111.1	102.6	111.4	106.2	104.1	98.2	101.4	2.7	▲ 7.7	▲ 4.7	▲ 2.0	▲ 5.7	3.3
食料品工業	3415.0	92.9	93.3	89.9	91.7	91.3	86.3	91.0	91.1	0.4	▲ 3.6	▲ 0.4	▲ 5.5	5.4	0.1
その他の工業	177.2	160.6	214.8	248.1	225.3	243.8	240.1	245.1	263.7	33.7	15.5	8.2	▲ 1.5	2.1	7.6
鋳業	793.8	73.5	70.3	72.3	69.0	72.8	74.9	71.5	70.1	▲ 4.4	2.8	5.5	2.9	▲ 4.5	▲ 2.0

注1)その他の工業は、非鉄金属工業、印刷業、繊維工業を統合したもの。

2 業種別の動向

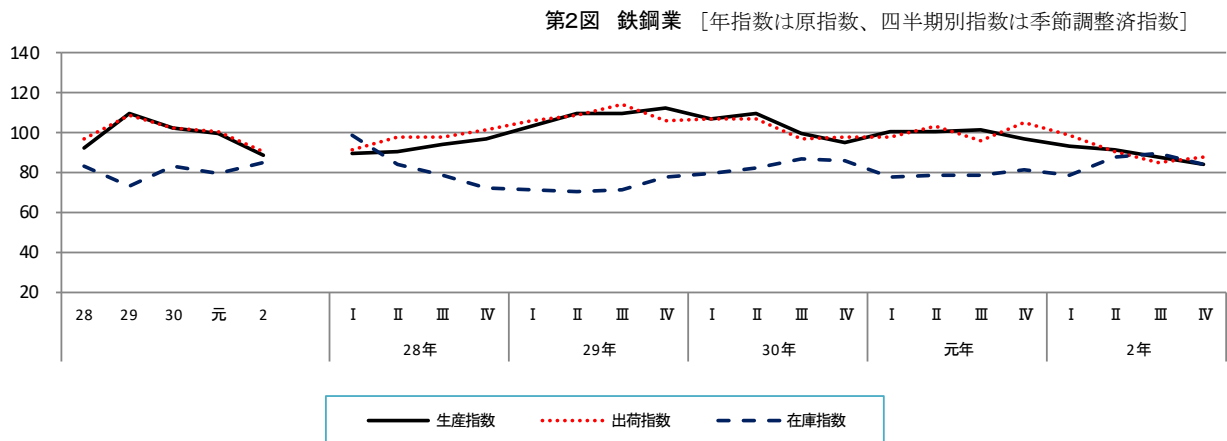
(1) 鉄鋼業

生産指数(原指数)(指数水準88.9、対前年比11.1%減)となった。

出荷指数(原指数)(指数水準90.5、対前年比9.9%減)となった。

在庫指数(原指数)(指数水準84.7、対前年比7.1%増)となった。

また、四半期の生産指数(季節調整済指数)をみると、対前期比でⅠ期は3.7%、Ⅱ期は1.7%、Ⅲ期は4.4%、Ⅳ期は3.8%といずれも低下した。



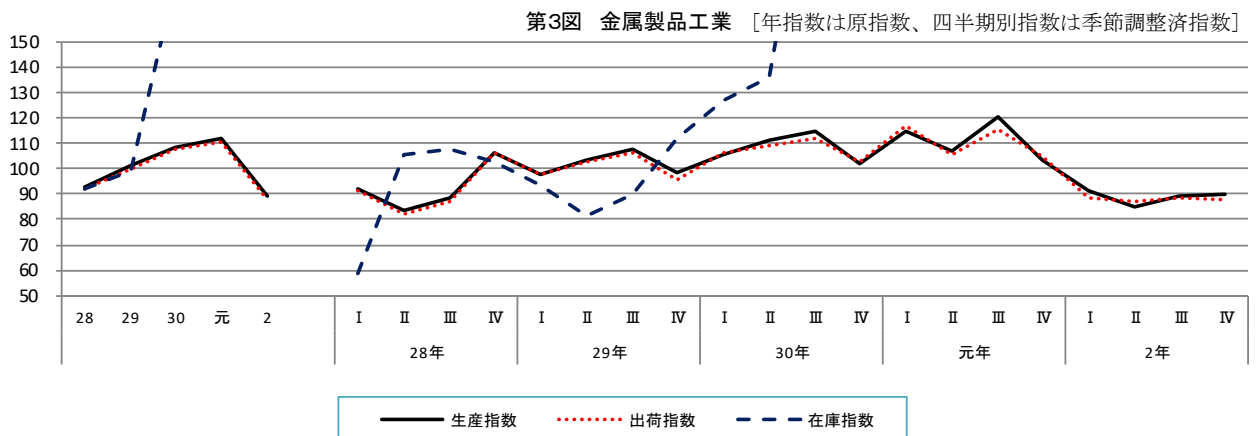
(2) 金属製品工業

生産指数(原指数)(指数水準89.0、対前年比20.7%減)となった。

出荷指数(原指数)(指数水準87.8、対前年比20.8%減)となった。

在庫指数(原指数)(指数水準336.2、対前年比16.3%増)となった。

また、四半期の生産指数(季節調整済指数)をみると、対前期比でⅠ期は11.4%、Ⅱ期は7.0%低下したものの、Ⅲ期は4.6%、Ⅳ期は0.7%上昇した。



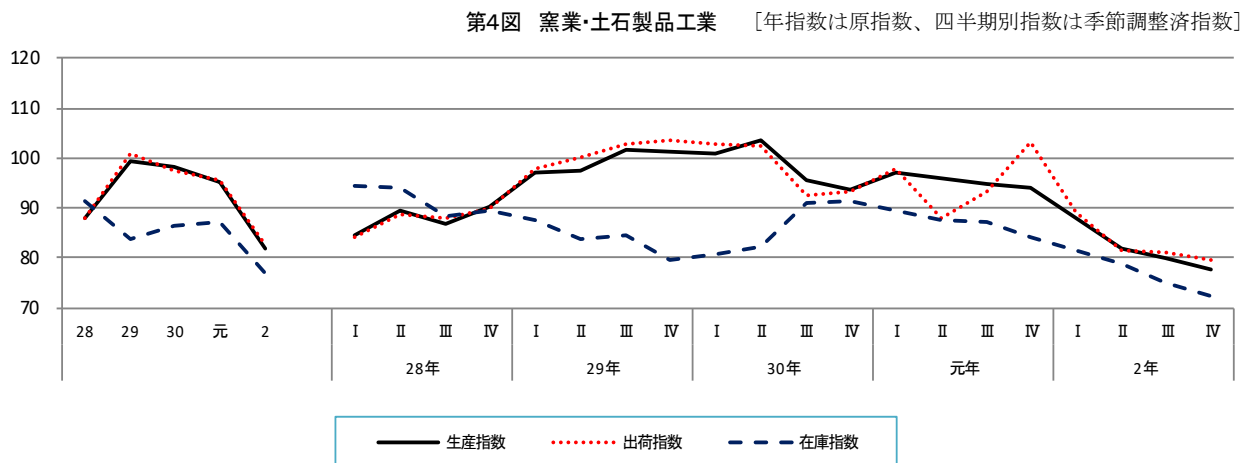
(3) 窯業・土石製品工業

生産指数(原指数)(指数水準81.8、対前年比14.1%減)となった。

出荷指数(原指数)(指数水準82.7、対前年比13.5%減)となった。

在庫指数(原指数)(指数水準76.8、対前年比11.8%減)となった。

また、四半期の生産指数(季節調整済指数)をみると、対前期比でⅠ期は6.4%、Ⅱ期は6.7%、Ⅲ期は2.4%、Ⅳ期は2.8%いずれも低下した。



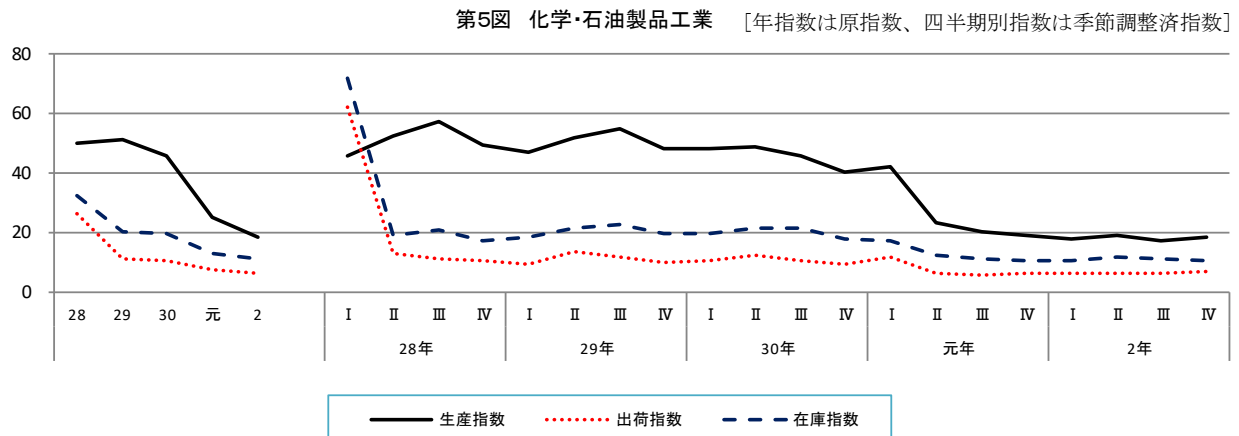
(4) 化学・石油製品工業

生産指数(原指数)(指数水準18.1、対前年比27.6%減)になった。

出荷指数(原指数)(指数水準6.2、対前年比13.9%減)になった。

在庫指数(原指数)(指数水準10.9、対前年比13.5%減)になった。

また、四半期の生産指数(季節調整済指数)をみると、対前期比でⅠ期は5.3%低下し、Ⅱ期は5.0%上昇したものの、Ⅲ期は8.5%低下し、Ⅳ期は7.6%再び上昇した。



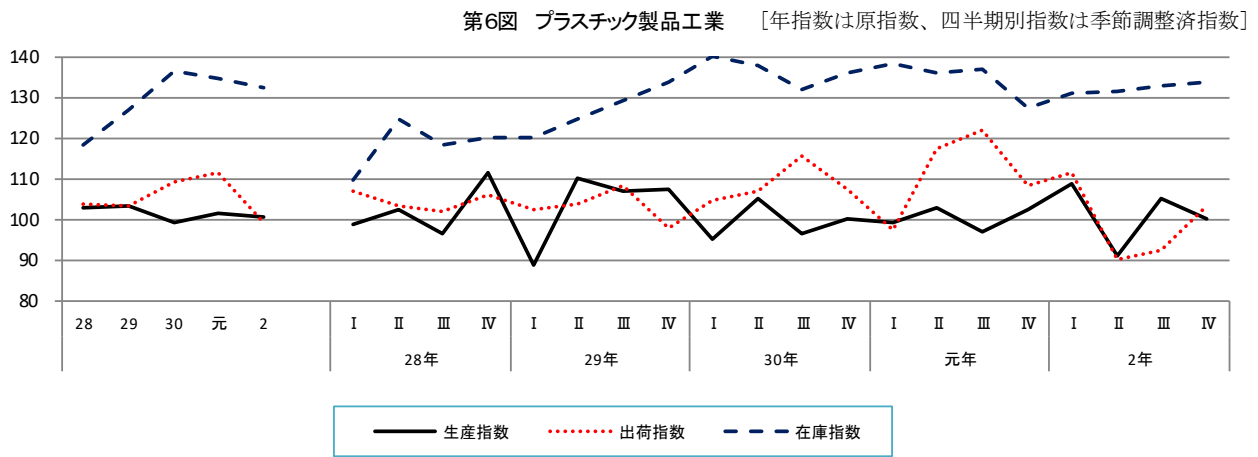
(5) プラスチック製品工業

生産指数(原指数)(指数水準100.8、対前年比0.6%減)なった。

出荷指数(原指数)(指数水準99.1、対前年比11.0%減)になった。

在庫指数(原指数)(指数水準132.3、対前年比1.6%減)になった。

また、四半期の生産指数(季節調整済指数)をみると、対前期比でⅠ期は6.2%上昇、Ⅱ期は16.4%低下し、Ⅲ期は15.5%上昇したものの、Ⅳ期は4.9%ふたたび低下した。



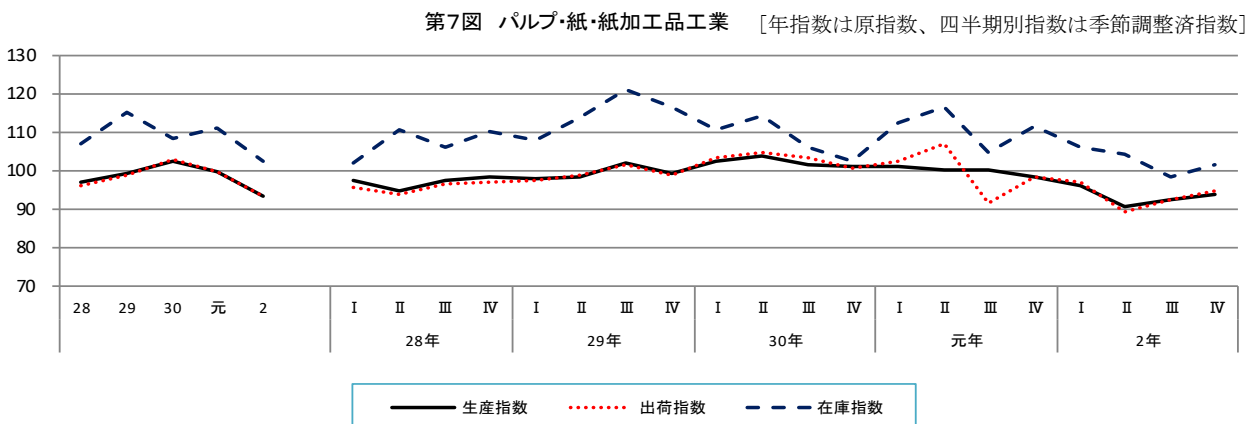
(6) パルプ・紙・紙加工品工業

生産指数(原指数)(指数水準93.2、対前年比6.6%減)となった。

出荷指数(原指数)(指数水準93.4、対前年比6.4%減)となった。

在庫指数(原指数)(指数水準102.6、対前年比7.7%減)となった。

また、四半期の生産指数(季節調整済指数)をみると、対前期比でⅠ期は2.3%、Ⅱ期は5.7%低下したものの、Ⅲ期は2.2%、Ⅳ期は1.5%上昇した。



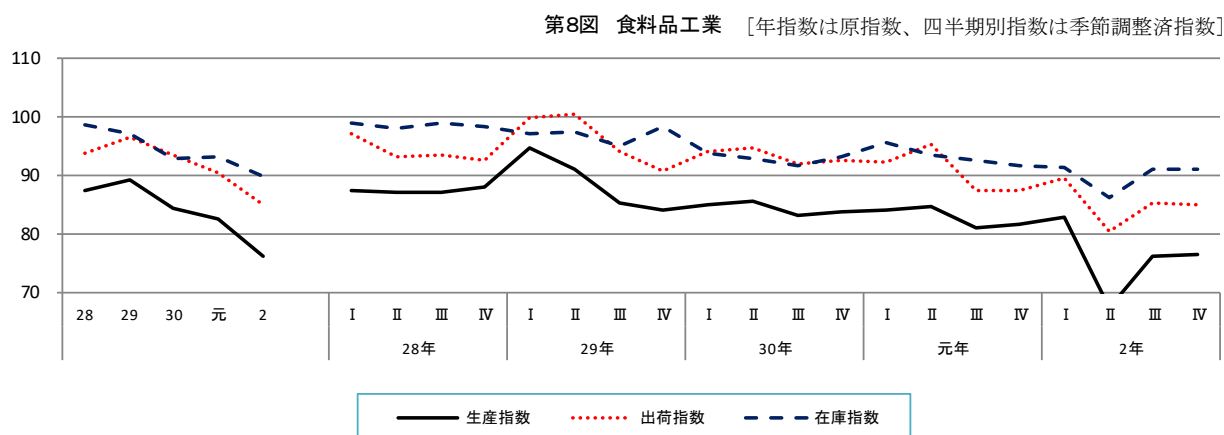
(7) 食料品工業

生産指数(原指数)(指数水準76.0、対前年比8.0%減)となった。

出荷指数(原指数)(指数水準85.0、対前年比6.1%減)となった。

在庫指数(原指数)(指数水準89.9、対前年比3.6%減)となった。

また、四半期の生産指数(季節調整済指数)をみると、対前期比でⅠ期は1.5%上昇、Ⅱ期は18.5%低下したものの、再びⅢ期は13.1%、Ⅳ期は0.3%上昇した。



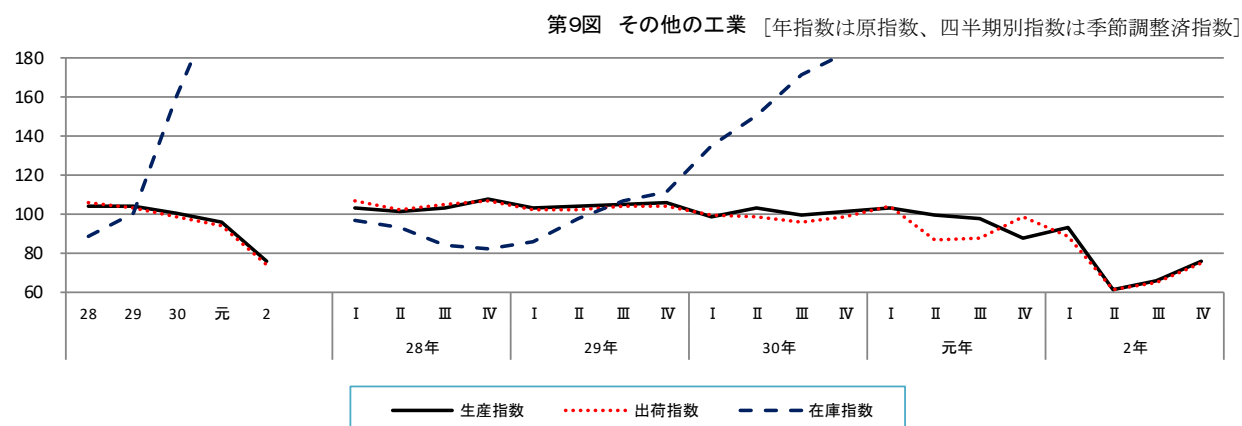
(8) その他の工業

生産指数(原指数)(指数水準75.1、対前年比21.9%減)となった。

出荷指数(原指数)(指数水準73.4、対前年比22.1%減)となった。

在庫指数(原指数)(指数水準248.1、対前年比15.5%増)となった。

また、四半期の生産指数(季節調整済指数)をみると、対前期比でⅠ期は6.5%上昇、Ⅱ期は34.6%低下したものの、Ⅲ期は7.2%、Ⅳ期は16.4%と上昇した。



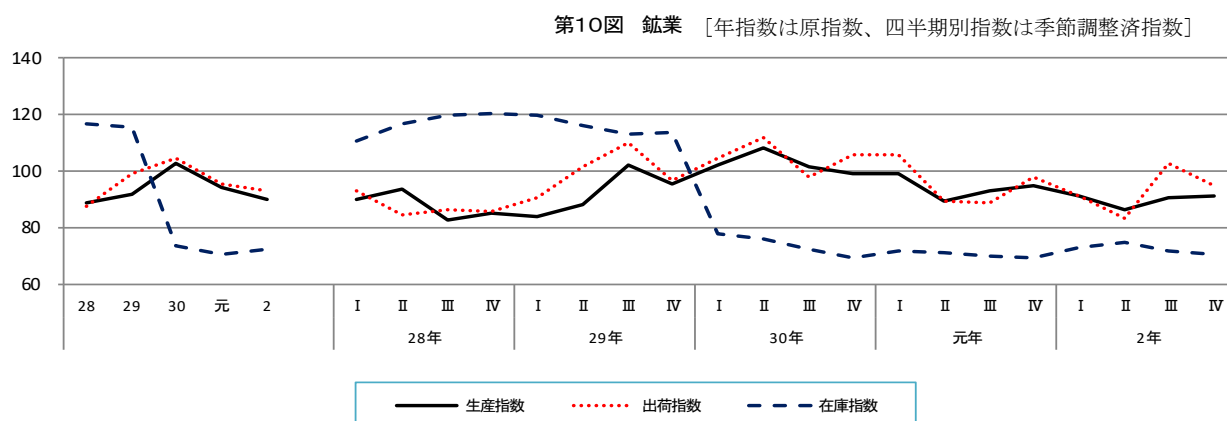
(9) 鉱業

生産指数(原指数) (指数水準89.9、対前年比4.3%減)

出荷指数(原指数) (指数水準92.9、対前年比2.6%減)

在庫指数(原指数) (指数水準72.3、対前年比2.8%増)

また、四半期の生産指数(季節調整済指数)をみると、I期は3.7%、II期は5.2%低下したがIII期は4.9%、IV期は0.8%上昇した。



3 財別の動向

(1) 生産

生産の動向を財別にみると、

最終需要財は85.4となり、対前年比で12.7%の低下となった。
生産財は53.8となり、対前年比で13.9%の低下となった。

最終需要財の投資財は85.9(対前年比16.5%減)、消費財は85.0(対前年比8.5%減)となった。
生産財の鉱工業用生産財は55.8(対前年比9.1%減)、その他用生産財は51.2(対前年比19.9%減)となった。

(2) 出荷

出荷の動向を財別にみると、

最終需要財は83.8となり、対前年比で11.0%の低下となった。
生産財は43.9となり、対前年比で10.0%の低下となった。

最終需要財の投資財は86.6(対前年比15.4%減)、消費財は81.9(対前年比7.4%減)となった。
生産財の鉱工業用生産財は55.0(対前年比4.5%減)、その他用生産財は35.9(対前年比15.5%減)となった。

(3) 在庫

在庫の動向を財別にみると、

最終需要財は109.6となり、対前年比で2.0%の上昇となった。
生産財は33.8となり、対前年比で4.5%の低下となった。

最終需要財の投資財は133.3(対前年比5.3%増)、消費財は93.1(対前年比1.3%減)となった。
生産財の鉱工業用生産財は52.4(対前年比0.2%減)、その他用生産財は16.3(対前年比15.1%減)となった。

第6表 財別生産指数

平成27年=100.0

	ウェイト	生産指数(原指数)					対前年増減率(%)				
		28年	29年	30年	元年	2年	28年	29年	30年	元年	2年
鉱工業	10000.0	87.6	92.4	90.1	87.3	76.0	▲ 12.4	5.5	▲ 2.5	▲ 3.1	▲ 12.9
最終需要財	7032.8	94.8	99.6	99.2	97.8	85.4	▲ 5.2	5.1	▲ 0.4	▲ 1.4	▲ 12.7
投資財	3425.2	90.5	98.6	102.2	102.9	85.9	▲ 9.5	9.0	3.7	0.7	▲ 16.5
資本財	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
建設財	3425.2	90.5	98.6	102.2	102.9	85.9	▲ 9.5	9.0	3.7	0.7	▲ 16.5
消費財	3607.6	98.9	100.5	96.4	92.9	85.0	▲ 1.1	1.6	▲ 4.1	▲ 3.6	▲ 8.5
耐久消費財	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
非耐久消費財	3607.6	98.9	100.5	96.4	92.9	85.0	▲ 1.1	1.6	▲ 4.1	▲ 3.6	▲ 8.5
生産財	2967.2	70.5	75.3	68.4	62.5	53.8	▲ 29.5	6.8	▲ 9.2	▲ 8.6	▲ 13.9
鉱工業用生産財	1641.9	59.4	68.8	60.8	61.4	55.8	▲ 40.6	15.8	▲ 11.6	1.0	▲ 9.1
その他用生産財	1325.3	84.1	83.2	77.7	63.9	51.2	▲ 15.9	▲ 1.1	▲ 6.6	▲ 17.8	▲ 19.9

第7表 財別出荷指数

平成27年=100.0

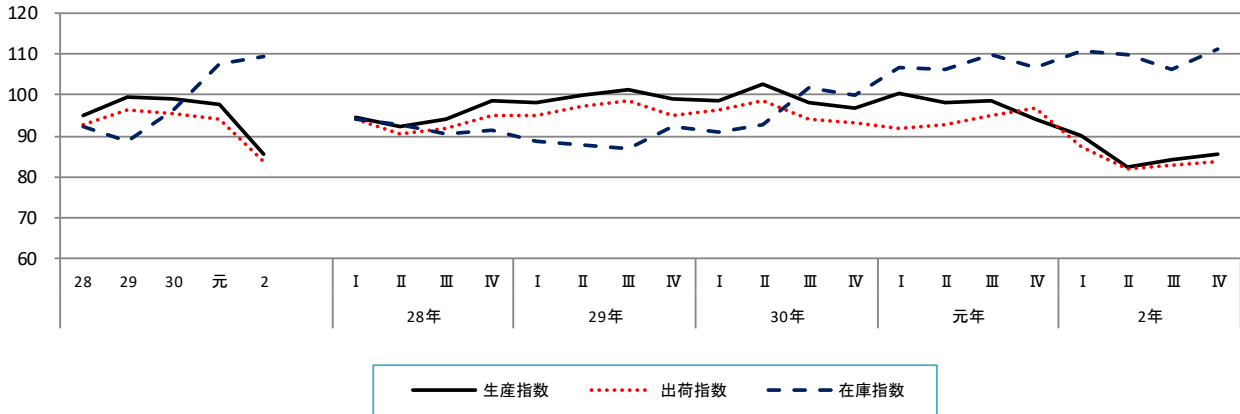
	ウェイト	出荷指数(原指数)					対前年増減率(%)				
		28年	29年	30年	元年	2年	28年	29年	30年	元年	2年
鉱工業	10000.0	81.4	83.0	81.4	79.2	70.6	▲ 18.6	2.0	▲ 1.9	▲ 2.7	▲ 10.9
最終需要財	6700.4	92.8	96.5	95.6	94.2	83.8	▲ 7.2	4.0	▲ 0.9	▲ 1.5	▲ 11.0
投資財	2765.9	91.2	99.5	101.5	102.4	86.6	▲ 8.8	9.1	2.0	0.9	▲ 15.4
資本財	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
建設財	2765.9	91.2	99.5	101.5	102.4	86.6	▲ 8.8	9.1	2.0	0.9	▲ 15.4
消費財	3934.5	93.9	94.5	91.4	88.4	81.9	▲ 6.1	0.6	▲ 3.3	▲ 3.3	▲ 7.4
耐久消費財	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
非耐久消費財	3934.5	93.9	94.5	91.4	88.4	81.9	▲ 6.1	0.6	▲ 3.3	▲ 3.3	▲ 7.4
生産財	3299.6	58.5	55.6	52.6	48.8	43.9	▲ 41.5	▲ 5.0	▲ 5.4	▲ 7.2	▲ 10.0
鉱工業用生産財	1376.2	59.7	66.5	60.7	57.6	55.0	▲ 40.3	11.4	▲ 8.7	▲ 5.1	▲ 4.5
その他用生産財	1923.4	57.6	47.8	46.8	42.5	35.9	▲ 42.4	▲ 17.0	▲ 2.1	▲ 9.2	▲ 15.5

第8表 財別在庫指数

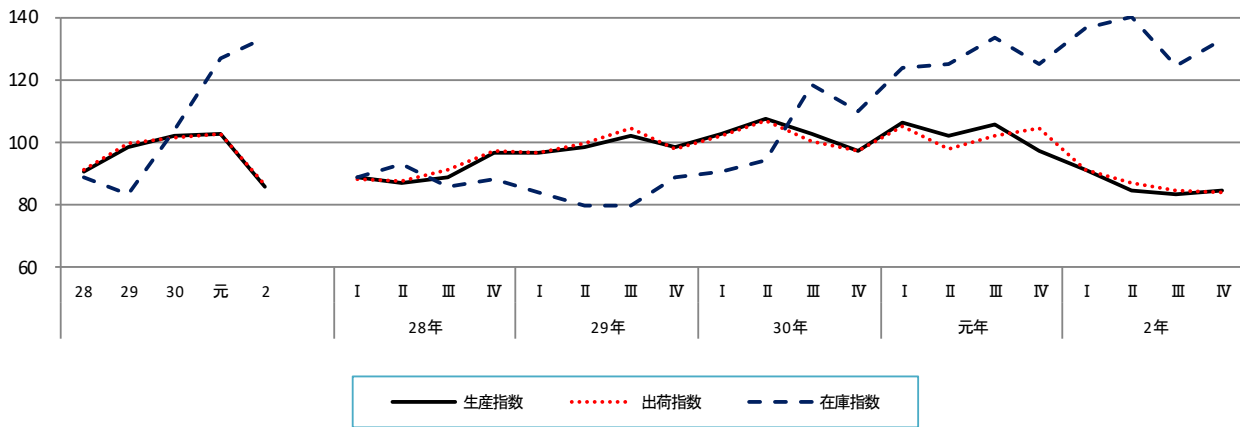
平成27年=100.0

	ウェイト	在庫指数(原指数)					対前年増減率(%)				
		28年	29年	30年	元年	2年	28年	29年	30年	元年	2年
鉱工業	10000.0	79.3	74.2	75.6	80.3	81.1	▲ 20.7	▲ 6.4	1.9	6.2	1.0
最終需要財	6230.0	92.3	88.9	96.4	107.5	109.6	▲ 7.7	▲ 3.7	8.4	11.5	2.0
投資財	2559.3	89.0	83.5	103.7	126.6	133.3	▲ 11.0	▲ 6.2	24.2	22.1	5.3
資本財	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
建設財	2559.3	89.0	83.5	103.7	126.6	133.3	▲ 11.0	▲ 6.2	24.2	22.1	5.3
消費財	3670.7	94.6	92.7	91.2	94.3	93.1	▲ 5.4	▲ 2.0	▲ 1.6	3.4	▲ 1.3
耐久消費財	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
非耐久消費財	3670.7	94.6	92.7	91.2	94.3	93.1	▲ 5.4	▲ 2.0	▲ 1.6	3.4	▲ 1.3
生産財	3770.0	57.9	49.8	41.4	35.4	33.8	▲ 42.1	▲ 14.0	▲ 16.9	▲ 14.5	▲ 4.5
鉱工業用生産財	1832.5	76.2	70.2	53.0	52.5	52.4	▲ 23.8	▲ 7.9	▲ 24.5	▲ 0.9	▲ 0.2
その他用生産財	1937.5	40.5	30.6	30.5	19.2	16.3	▲ 59.5	▲ 24.4	▲ 0.3	▲ 37.0	▲ 15.1

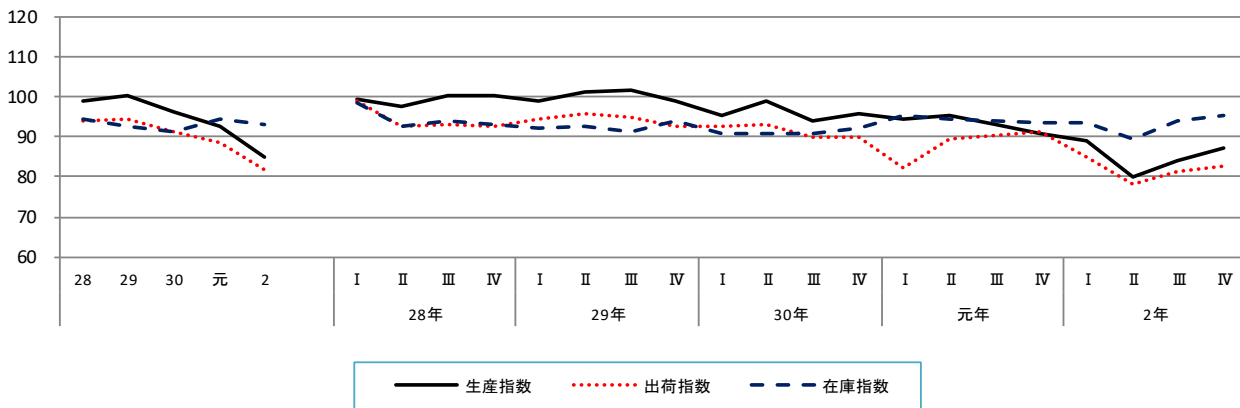
第11図 最終需要財 [年指数は原指数、四半期別指数は季節調整済指数]



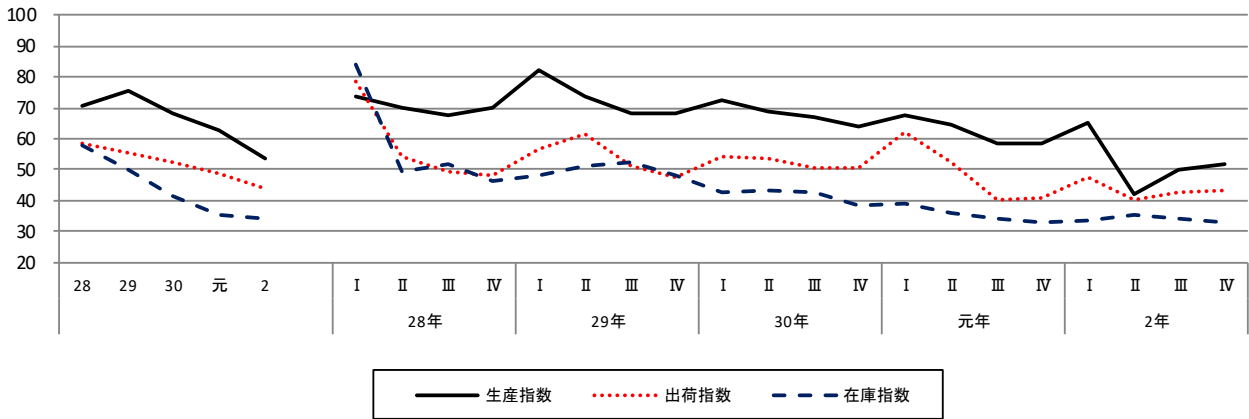
第12図 建設財 [年指数は原指数、四半期別指数は季節調整済指数]



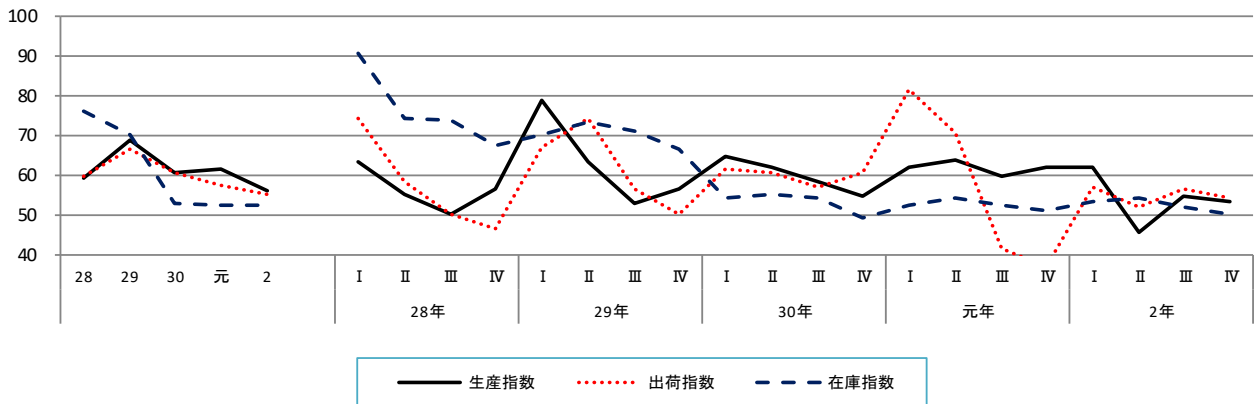
第13図 非耐久消費財 [年指数は原指数、四半期別指数は季節調整済指数]



第14図 生産財 [年指数は原指数、四半期別指数は季節調整済指数]



第15図 鉱工業用生産財 [年指数は原指数、四半期別指数は季節調整済指数]



第16図 その他用生産財 [年指数は原指数、四半期別指数は季節調整済指数]

